

## 理学療法学科

理学療法（Physical Therapy）は運動療法や徒手療法、物理療法を用いて、失われた身体の機能を回復させる治療方法です。理学療法士は、病気やケガの回復を促し、社会復帰や日常生活に戻るまでのサポートを担います。さらに、生き甲斐やその人らしさをサポートする自立支援、生活支援、健康増進、介護予防などの分野、教育や研究などさまざまな場面でも活躍しています。

**【教育目的】** 理学療法士（Physical Therapist）という医療専門職に必要な基本的知識と技術を習得します。対象者の障害を正しく捉え、これを解決するため、科学的根拠に基づいた理学療法を実践できる基本的能力を養います。また、社会の変化やニーズに対応できる人材を育成し、能動的学習と修練によって、学習意欲を向上し続ける能力を身につけます。

**【学ぶ内容】** 理学療法士の業務内容は、障害の評価・運動療法・物理療法で身体機能の回復を図り、小児から高齢者まで幅広い年代が対象となります。その為、外傷・骨折・腰痛等の整形外科領域、呼吸・循環・糖尿病等の内科領域、脳血管障害等の脳外科・脳神経内科領域・脳性麻痺・筋ジストロフィー等の小児領域、最近の傾向としてスポーツ医学の分野や地域リハビリテーションなど多岐にわたる学習内容となります。

1 学年では解剖学・生理学・運動学等の専門基礎科目、2 学年では整形外科・神経内科等の一般臨床医学および物理療法・運動療法・疾患別理学療法等の専門科目を学びます。3 学年では実際に病院等での臨床実習を行い現場でしか学べない経験や技術を修得できるようにカリキュラムを編成しています。また、知識・技術の修得だけでなく、一般社会人としての社会性の育成も重視しています。

**【学び方】** 一般教養科目、専門基礎科目については、近隣の大学病院等から講師に招き専門性の高い講義内容になっています。専門科目については専任教員を中心に実施します。座学のみならず実技や演習を交えて実践的に学びます。臨床実習では、実習指導者と連携を図り、学生個々の状況に合わせた指導を実践します。

また新型コロナウイルス等で休校措置となった場合でも、タブレットやweb会議ツールを利用した遠隔授業を実践し学習に遅れが生じないようにします。

**【教育指針】** 理学療法に関する知識や技術は勿論ですが、患者様、利用者様への思いやりの気持ち、チーム医療を展開するための協調性、自ら考えスキルアップを図る能力についても指導して行きます。そして社会人としての姿勢・態度を修得し現場で活躍できる理学療法士を育成できるよう教職員一同努めていきます。

## 【ディプロマ・ポリシー（卒業認定・専門士授与に関する方針）】

松江総合医療専門学校理学療法学科は、教育理念にある「地域の保健・医療・福祉施設などにおいて、人々の健康の担い手として活躍できる質の高い医療従事者の育成」を基本に、理学療法学科の教育目標を達成し、所定の単位を修得するため、かつ、下記のディプロマ・ポリシーにある要件を満たした者に卒業を認定し、専門士の学位を授与する。

1. 心：Heart 患者様の思いを理解する思いやりの心を有している人材  
理学療法の対象である人間を身体的・精神的・社会的に統合された存在として、幅広く理解して思いやりの心を有している人材
2. 人間性：Humanity 学習に取り組む姿勢を有している人材  
専門職業人として自覚と責任を持ち、生涯にわたって最新の知識・技術を自ら学び続けて自己を向上させていく能力を有している人材
3. 知識（頭）：Head 考え抜く力を有している人材  
あらゆる人々に対して、科学的根拠に基づいた理学療法を幅広く探求し、実践できるための知識を有している人材
4. 治療（手）：Hand 基本的な手技を有している人材  
専門職業人としての共感的態度及び倫理に基づいた理学療法を実践できる基礎的能力を有している人材
5. 協調性：Harmony チーム医療を実践する能力を有している人材  
チームの一員としての理学療法士の役割を認識して、人々が社会的資源を活用できるよう、協働・調整するための基礎的能力を有している人材

## 【カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施方針）】

松江総合医療専門学校理学療法学科は、ディプロマ・ポリシーに基づいて、社会適応力や実践力の修得、課題解決能力の修得に向けた教育課程を編成する。

1. 豊かな人間性を養う教育
2. 専門職業人に必要な知識・技術を身につけるための教育
3. チーム医療における協調的態度がとれるようになるための教育

## 【アドミッションポリシー（入学受け入れ方針）】

松江総合医療専門学校は、人々の健康の担い手として活躍できる質の高い医療従事者を育成することを基本理念としている。この理念を理解し、基礎的な学力や判断力、表現力を有した上で次のような資質を持っている者を受け入れる。

1. 人を大切に思う気持ちを持っている人
2. 社会における自分の存在を大切にできる人
3. 心身の健康を意識し、自己管理できる人
4. 目的・目標を持ち、それに向かって努力できる人
5. 地域、社会に興味・関心を持っている人
6. 他者と積極的にコミュニケーションを取ろうとできる人

## 松江総合医療専門学校

### アセスメント・ポリシー

松江総合医療専門学校では、ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、アドミッション・ポリシーに基づき、3つのレベル(学校レベル・学科レベル・科目レベル)で学修成果を点検・評価する方法を定め、入学時、在学時、卒業時の各段階において点検・評価を総合的に実施し教育環境の改善に取り組む。

入学時には、入学試験、調査書等の記載内容、入学前課題、入学後の個人面談の情報を用いて、アドミッション・ポリシーで求める基礎的学力や判断力、表現力が身についているか評価する。

在学時には、単位修得状況、成績評価、授業評価アンケート、授業や臨床実習等における学習や発表と合わせ、臨床実習等での主体的、能動的な学修を通じて、対象者様のことを第一に考えられる社会適応力や実践力、課題解決能力を身につけているか評価する。合わせて、各学科が求める専門知識・能力が身に付いているか、総合的に評価を行う。

卒業時には、単位修得状況、成績評価、卒業試験等を用いて、ディプロマ・ポリシーで求める必要な能力が身についているか総合的に評価を行う。

卒業後、就職状況等を用いて「豊かなコミュニケーション能力と課題解決能力を持った自立した医療人」としての能力が身についているか評価を行う。